

■国内の農業生産の今後

今日は主に食品安全（food safety）のお話をしましたが、食の安全は3つ（食糧安全保障／食品安全／食品防御）に分けて考えるのが主流だと思います（図25）。ひとつひとつ話すと長くなりますが、本当に大きな問題となるかもしれないのは“食糧安全保障（food security）”だと思います。これは量の問題です。日本では量の問題はないという状態が過去何十年間続いていますけど、過去2000年くらいの歴史の中でみれば奇跡的な数十年と言ってもいいくらいで、これがずっと続く保証があるわけではありません。

最後に、自民党の時代に石破農水大臣が言われたことです。現在、状況が改善されたとも思いませんし、その通りだと思いますので紹介します。

農業の所得というのは15年で半分になっています。また外国の人が見て驚かれるのは耕作放棄地です。みなさんもどこかに出掛けられればそういうところを見られると思います。さらには農業従事者の年齢です。私が40代の頃はちょっと上の年齢の人達を中心となっていました。60歳を過ぎた今になっても、まだ上の人達が頑張っています。今後10年くらい経ったときに農業を担える人がどれだけいるのだろうかという状況です。TPPなどの問題が絡んできているので、人それぞれの意見があると思いますが、国内の農業生産をどうやって維持するかということは、重大な問題だと思います。

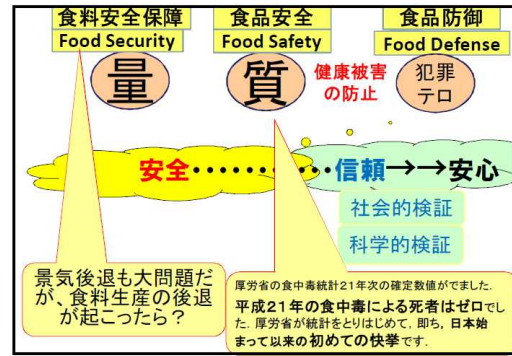


図 25